整理	整理番号 6														
部	局 名	政策調	整部			所。	<mark>禹 名</mark> 市政	섳情報 詞	果		所	属長	伊賀	直樹	
事務	事業名	01221	文書管理	埋改善推注	進事業						記	入者	髙橋	直輝	
<1.	. 基本事項>														
	区分	コード				名		称					大津	市文書取扱	見程
	方針	03		+適に住る	み続ける		できる活力の	• •	ちを食	川ります		拠			
総合計		05					かな都市経営			11 7 0 7	—— 法·	令等			
画の位	15.55					ひノ、 11圧 /	いな部川柱呂	で進め	749		<mark></mark>				
置付け		03		た市政の			" >"					する			
	視点	01		利を尊重	した情報	公開の打	推進					計画			
	重事	01	情報公園	開の推進											
田,平	コード 事				事 務	事 業 名	称				ード		所属名	称	
事業	関連														
7.7.															
予	会	計	枠	事	業種	別		予	算 引	事 業 名			始	期・終り	朝
算	— A	设会計	管理	評価対象	東事業		文書管理改	盖推准	重 業費						
事							八百日在以		于不只	•					
業	-														
	信報公	盟及バ係	人情報与	は	滅正な	宙田を令	 頭に置き、2	小文里	の敷理		ついての制度	まを統任	l /i	X亜に広じて	
	古短め)適正化、効薬								
事業の	<mark>ノ</mark> に「個						F修」を実施し								
概要							理月間と定め								
	方法	■ 直宮	堂 □	指定管理	里者 口	民間委託	无 口出資	団体	委託	□ 補助金	交付 口その	の他()
<2.	事業分	·析> □	PLAN												
	目	的	文書の作	作成一整 ³	理一保存	一廃棄の	の円滑な実施	のため	٥,						
(何のため	(こ)													
	対 1	象	公文書(こついて、											
(何又は誰	· (左)													
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	文書管理	埋システュ	ムの利用	. 文書	整理月間の実	'施. か	\文書-	- 斉廃棄の3	が、文書庫・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	への引継	まぎ	などにより.	
م تل)	ようなや	^	7 6 6 6		_,,,,,		E-177167-00	.,,,,,		7100000	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_	0.21-0.70	
(2 0,		表 表		ヒゖる済	正かつ効	家めか	文書管理を行	· >							
			11 191-0	いい の 個 1	正 / ハ・フ メバ	一年のかり	入官日柱で刊	J .							
	うな状態に														
< 3.	経費>	DO	- 1.0		- 50			_	A ==	0 to -to	^ 				
				30年度	平成3		令和 2年月				令和 4年度			備考	
			決算額	<mark>(千円)</mark>	決算額	(千円)	決算額(千F	円)	予算額	(千円) 見	込額(千円)				
	直接経費			3, 220		2, 890	2,	807		3, 021	3, 116				
	人件費	В		8, 701		9, 873	10,	064		10, 064	10, 064				
事業	費合計	A+B		11, 921		12, 763	12,	871		13, 085	13, 180	1			
		国		0		0		0		0	0				
事業費 の財源	t	 県		0		0		0		0	0				
の財源	起	債		0		0		0		0	0				
内部		の他		388		371		314		335		!	亥 弃 =	 委託企業局分	- 田仝
		g財源		11, 533		12, 392		557		12, 750	12, 845	1	北未	大几 上未问刀	1급 까
職	量数	(人)	<u> </u>					_			,	-			
 				1. 26		1. 39		1.39		1. 39	1. 39	1			
職員数	正			1. 00		1. 13		1. 13		1. 13	1. 13				
の内部	鳴			0. 00		0.00		0. 00		0. 00	0.00				
	臨			0. 26		0. 26	0). 26		0. 26	0. 26	<u></u>			
<4.	指標>	DO													
		指	標	名		単	位	目標	・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2	年度	令和 3年度	令和 4年度
	登録簿	冊総数					<i>II</i> +	目	標	200, 000	200, 000		100	100	100
<u>;</u> 1	文書管	理研修参	加率(革	≚)			件		績	244, 030	253, 122		68	_	_
面	文書管	理システ	ムに登録	まされてし	 \る簿冊	数(各年	度4月時点)			研修参加率					
指								I	標		1	1			
標 2									績			 			
	\vdash							夫	: 祁貝		ļ				
	→事坽	索時間比			1		1	Г –	I	,) n	ı	٥٥	٥٨	00
		系時间比 理習熟度		答率%		検索	索時間比		標		2 2		80	80	80
1										^ ^-					_
成					- 1A - :				績	2.87			76	_	
成 果 			間÷シス)検索時		非管理習熟度 ⁻						/6		
活動指標 成果指標			間÷シス		D検索時			テスト				<u> </u>	76	_	

() μ μ			
	取りまく 竟の状況		、年金等給付事務、各種証明書等申請書など各般の書類が増加している。また、公文書の情 に対応するため、更なる文書管理の適正化、迅速化が求められている。
	の見直し 等の経過		委託は平成29年度から収集業務を追加している。また、令和元年度に文書事務手引を作成 管理研修を実施した。現行文書管理システムは、令和3年7月から新システムへ移行予定。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)		当である ぼ妥当である まり妥当ではない	適正な文書管理の運用を図るためには、文書管理システム及び電子決裁の有効活用、文書 整理月間の設定や文書管理研修の実施が必要であり、妥当である。
于权限发出机	□ D. 妥≦	当ではない	
有効性 (事業分析の			文書管理研修への参加率が目標に達していないことが課題であるが、公文書公開請求時の 文書特定等の迅速化や書庫への文書引継事務の簡素化・迅速化が図れており、総じて当事
「成果」欄に		た上がっている	大量特定する近極にで音楽された音が極事物の間系に、近極にかられており、幅して当事 業は有効と判断できる。
記載の成果は上がっている		まり上がっていない	
か)	□ D. 上 <i>t</i>	がっていない	
効 率 性	■ A. 高い	,1	システムによる簡易画面操作で、文書の所在、作成年度、保管、廃棄年限等の短時間検索
(事業手法は効	□ B. やも	ら高い	を行うことができ、決裁文書の形式が統一化され、文書事務の効率化に貢献している。
<u>率的である</u> か。)	□ C. やt	や低い	
70 % 7	□ D. 低し	.1.	
総合評価	■ 1. 計画	回どおり事業を進める	ることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
	□ 3. 事業	業規模や見直しが必要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A. 貢繭	ましている	公文書の適正管理や事務効率の向上により、公文書公開請求への迅速かつ的確な対応など

		公文書の適正管理や事務効率の向上により、公文書公開請求への迅速かつ的確な対応など 市民等に開かれた公正で透明な行政運営に貢献している。
	□ B. やや貝臥している	
貢献度	□ C. あまり貢献していない	
	□ D. 貢献していない	

<u> </u>	<u></u>
<u> <6. 今往</u>	をの方向性/ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 3. 終期の設定 □ 6. 廃止
力问任	令和3年7月に文書管理システムを更新(検索機能充実)予定で、業務マニュアルを整備し、更に文書管理業務の適正 化、効率化を推進する。また、文書保存期間の運用については、職員研修会等において、公文書の適正な管理の周知徹 底を図る。
部局長コメント	情報公開及び個人情報保護の両制度の運用には適正な文書管理が不可欠である。文書管理システムを有効に活用し、一 層の事務の適正化・効率化を推進するため、研修等を通じ職員の意識、資質の向上を図り、文書の整理から廃棄にいた るまでの適切な管理を徹底する。

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	143.50 %	143.50 %	95. 00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	+2, 548. 08 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	0 _{千円}	0 千円	189 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	4, 153 _{千円}	4, 447 _{千円}	169 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+7.06 %	-96.19 %

				_	計和	3年/	度 事務	務事業	評価	「シー	· -	[令和	2年度事後評	[価]
整理	番号		7												
部局	引 名	政策調團	圣部			所』	禹 名 市政情	報課			所属	禹 長	伊賀	直樹	
事務等	事業名	01362	情報公園	開制度等	推進事業						記り	入者	髙橋	直輝	
<1.	基本事	項>													
	区分	П -				名	称				+8	+hn		5情報公開条例、	
60 A = 1	方針	03	安心、惊	央適に住	み続ける	ことの	できる活力のあ	るまちを創	ります			拠 う等	津巾1	固人情報保護条例	<i>'</i> ''
総合計 画の位	政策	05	徹底した	た行財政	改革を進	め、確か	かな都市経営を	進めます			74	,			
置付け	施策	03	開かれた	た市政の	推進						田中本	+ 7			
	視点	01	知る権利	利を尊重	した情報	公開の打	推進				関連個別	りる 計画			
	重事	01	情報公開	開の推進							104 73-3				
即本	П	ード				事務	事業名	称			Π-	ード		所属名称	
関連 事業															
于木															
予	会	計	枠	事	業種	別		予算事	業	各			始	期・終期	
算	一般	会計	政策	評価対象	象事業		情報公開制度等	等推進事業:	費						
事															
業															
							説明責任を全うで						項を定	め、公正で	
事業の							情報公開条例に 最の適正な取扱し						開示	T正及水利	
概要							は は は は は は は は は は は は は は は り に り に り							11年次04年	
運営	方 法	■ 直営		指定管理	里者 🗆	民間委託	託 口出資団	体委託	口 補助	金交付	□ その	D他 ()
<2.	事業分	折> F	PLAN												
	目 的]	市民ので	市政への	参加を一	層促進	し、市民の理解	と協力を得	ること、	また、個	国人の村	霍利利益	の保護	を図るため	
(乍	可のため	(E)													
	対 象	Ę	情報公園	開制度ま	たは個人	情報保護	護制度を利用す	る者に対し	•						
(何	可又は誰	を)													
	手 段	Į.	情報公園	開請求ま	たは保有	個人情報	報の開示請求等	に対して、	市の保有	有する公文	て書を特	寺定して	開示し	•	
(どの。	ようなやり	ノ方で)													
	成 集	Į.	行政の記	透明性が	高まり、	市民ので	市政への参加が	促進され、	信頼され	ιる市政σ)運営だ	が確保さ	れる。		
(どのよう	な状態に	するのか)													
<3.	経費>	DO						-		·					
			平成3	0年度	平成3	1年度	令和 2年度	令和 3	年度	令和 4:	年度				

<u> </u>	作兵/ ひし						
		平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	IIII ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
直	[接経費 A	1, 077	620	525	884	1, 077	
人	、件 費 B	10, 751	15, 434	15, 558	15, 558	15, 558	
事業	費合計 A+B	11, 828	16, 054	16, 083	16, 442	16, 635	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源内 訳	起債	0	0	0	0	0	
I J H/C	その他	385	261	345	300	300	雑入【公文書コピー代】
	一般財源	11, 443	15, 793	15, 738	16, 142	16, 335	
職	員数(人)	1. 51	2. 06	2. 06	2. 06	2. 06	
reb 吕 *b	正規	1. 25	1. 80	1. 80	1. 80	1.80	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
221 JU/C	臨時	0. 26	0. 26	0. 26	0. 26	0. 26	

		指標名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		情報公開の請求件数	114	目標	300	300	300	300	
活	1		件	実績	369	312	390	_	-
動		1年間で公文書公開の請求のあった件数							
指		保有個人情報開示の請求件数	件	目標	55	55	55	55	55
標	2		1+	実績	60	52	67	-	_
		1年間で開示請求のあった件数			,				
		情報公開請求のうち期限を徒過せ	%	目標	100	100	100	100	100
成	1	ずに決定処分をした割合	70	実績	100	100	100	-	_
成 果		条例で定める請求から決定までの期限を	正当な理由と必要な	手続きを経す	して経過する	ることがない	١,		
指揮	保有個人情報開示請求のうち期限		%	目標	100	100	100	100	100
標	2	を徒過せずに決定処分をした割合	70	実績	100	100	100	-	_
		条例で定める請求から決定までの期限を	正当な理由と必要な	手続きを経す	して経過する	ることがない	١,		

事業を明 社会環境	X 7 & \	情報公開制度の浸透 個人情報の開示請求	、個人情報保護に対する市民意識の高まり等から、広い範囲で数多くの情報公開請求や保有 を受けている。
			情報について各担当課と協議するとともに、公開(開示)請求に迅速かつ的確に対応するた 一覧をライブラリに掲載し、また、本年2月には個人情報保護・情報公開研修を実施した。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当性 (実施主体又は		ぎ妥当である	情報公開制度や個人情報保護制度の推進は、公正で透明な信頼される行政運営を確保し、 個人の権利利益の保護を図るために必要であり、妥当である。
手段は妥当か)	□ C. あま □ D. 妥当	まり妥当ではない 当ではない	
有効性 (事業分析の	■ A. 上 <i>t</i>		近年は情報公開等請求件数が高水準で推移しているが、請求資料の特定などで請求者と原 課の調整を行い、情報公開及び個人情報開示決定を円滑に行っている。
「成果」欄に		た上がっている	林の副金を刊り、 情報互所及の個人情報所が次だを11/fiで刊っている。
記載の成果は 上がっている	□ C. あま	まり上がっていない	
か)	□ D. 上 <i>t</i>	がっていない	
** *** **	■ A. 高い	Α.	情報公開等の請求に対する決定期限は原則15日以内であるが、定例的等簡易な請求は期間のは、
効 率 性 (事業手法は効	□ B. やt	や高い	限を待たず、速やかに公開(開示)されるよう担当課への助言に努めている。
<u>率的である</u> か。)	□ C. やt	や低い	
<i>γ</i> , °)	□ D. 低し	.1	
総合評価	■ 1. 計画	回どおり事業を進める	ことが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要
松口計画	□ 3. 事業	業規模や見直しが必 要	□ 4.事業の抜本的見直しや廃止が必要
	■ A. 貢献	状している	市民等の請求に対し、市政に関する情報を速やかに提供することで、市民への説明責任を

	施策への □ □		市民等の請求に対し、市政に関する情報を速やかに提供することで、市民への説明責任を 果たし、開かれた行政運営を実現するための重要な事務事業となっている。
--	----------	--	--

< 6. 今後	後の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
7) III II	開かれた大津市政を推進するための重要な制度として、今後も正確で適正な情報公開および個人情報保護の各制度の推
	進に努める。また、慎重な取扱いが求められるマイナンバーに対する知識習得のための情報提供や、個人情報保護法の
	改正等国の動向に注視しながら、関連する情報収集に努め、「個人情報保護・情報公開研修」を継続的に実施する。
	情報公開を推進し、保有個人情報を適切に取り扱うためには、すべての職員が情報公開制度及び個人情報保護制度につ
部局長	いての理解を深め、両制度が適正に運用される必要がある。今後とも、計画的に研修会を開催し、職員の知識習得・習
部局長コメント	熟に努める。

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
達成率	指標2	100.00 %	100.00 %	100.00 %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位	指標1	32 _{千円}	51 千円	41 _{千円}
コスト	指標2	197 壬円	308 千円	240 千円
成果単位	指標1	118 _{千円}	160 千円	160 _{千円}
コスト	指標2	118 千円	160 千円	160 千円
コスト増	減率	- %	+35. 72 %	+0.18 %

整理	番号		4											
部 局 名 政策調		政策調	隆部			所属	<mark>属 名</mark> 広幸	段課			所属	<mark>禹長</mark> 谷	口信子	
事務事	事業名	01219	広報お	おつ発行	事業						記 <i>7</i>	<mark>人者</mark> 山	崎 晃	
<1.	基本事	項>												
	区分	コード				名		称						
	方針	03	安心、惊	央適に住る	み続ける	ことので	できる活力の	あるまち	を創	ります	根			
総合計	政策	05	徹底した	た行財政	改革を進	め、確た	いな都市経営	を進めま	す		法令) 寸		
画の位 置付け	施策	03	開かれが	た市政の持	推進									
直刊り	視点	02		ンデータ等		市政情報	その発信 しんりょう				関連			
	重事	02		<u> </u>		11,20,161	KANDUID				個別	計画		
		_ ド	11以以十	- 収/口 3月 07)		車 淼	事 業 名	珎			7-	- F	所属名	称
関連		- 11				T 15	尹 木 口	יוניף				1	771 周 1	վոյւ
事業														
		÷L.	+ † .	古	光 任 [211		マ 쓰	-	· ** 力			+/> ₩□	to I
予		計	枠		業種り	5IJ				業名			始 期 · 終;	IJ
算	一般	会計	管理	評価対象	事 業		広報おおつ	発行事業	費					
事業														
	広報おる	おつは、 ゜ ごで	昭和25	5年4月の)創刊以3	天、本市 - 左 o B	の行政情報の	の基幹的	媒体	としての役割	引を果たして 毎日1日	いる。当初]は、タブロイ Ⅰ号の2回を基	
事業の											っ、毋月1ロ 市民層への情			
概要	,,,,,	- 70 17 0	23.00	124/AN IT' C	. 10 0 0 0 7 1	.,. 2	. , , , , ,		/U ID	⊂ ±⊞1Ω 0 .1	201日 1971日	INJAC INTO Z	,	
運営	方 法	■直営		指定管理	2	民間委託	<u>□</u> 出資	資団体委 記	ŧ	□ 補助金3	で付 □ その	他 ()
<2.	事業分	折> 1	PLAN	1										
	目 的]	市政(ā	まちづく「	り)情報	を広く扱	是供する。							
(f	可のため	(=)												
	対 象		全市民	こ対して										
	可又は誰													
	手 段		印刷紙刀	及びイング	ターネッ	トを活用	用して							
	ようなやり	•	1 1121124											
	成 東		行政と記	お足とので	韦政 (主	ちづくし	リ) 情報の共	右化を図	12					
		-	ПЩСТ	110,001	م) هدا	52(/ / IFI +IX •///	.H ID C E	1.000					
	うな状態に													
<u> </u>	経費>	DO	ज ।	00左座	ਹ ਹ ੋ ਹ	(左连	<u> </u>	±	ıın (0.左曲	·和 /左座			
				80年度	平成31		令和 2年				和 4年度		備考	
	-1	<u> </u>	决 昇額	<mark>(千円)</mark>	決算額		決算額(千				込額(千円)			
	接経費			67, 346		70, 031		865		81, 112	84, 321			
	、件 費			19, 207		18, 142		182		18, 592	18, 592			
事業領	費合計			86, 553		88, 173	88,	047		99, 704	102, 913			
		玉		0		0		0		0	0			
事業費の財源	À	県		0		0		0		0	0			
事業費 の財源 内 訳	起	債		0		0		0		0	0			
r J H/C	そ(の他		2, 520		2, 520	4,	286		4, 492	4, 492			
	一般	財源		84, 033		85, 653	83,	761		95, 212	98, 421			
職	員 数	(人)		2. 48		2. 38	2	2. 33		2. 38	2. 38			
	- 7	規		2. 30		2. 20		2. 15		2. 20	2. 20			
職員数	正			-: ••							0. 00			
Ω # ₹□	<u>ـ</u> 嘱	託		0.00		0.00	(). 001		0.001				
の内訳				0. 00 0. 18		0. 00 0. 18). 00). 18		0. 00 0. 18	0. 18			
の内訳	嘱 臨	託												
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱	託 時 DO		0. 18			(). 18	巨結	0. 18	0. 18	令和 2年度	₹ 令和 3年度	令和 4年度
<mark>の内訳</mark> <4 .	指標>	託 時 DO 指	標 部数(1			0. 18	<u>位</u>). 18		0.18平成30年度	0.18		₹ 令和 3年度 0 117,000	
<mark>の内訳</mark> <4 .	指標>	託 時 DO 指		0. 18 名	J	0. 18	(). 18 <mark>目標・</mark> 目標		0. 18 平成30年度 117, 000	0. 18 平成31年度 117, 000	117, 00	0 117, 000	<mark>令和 4年度</mark> 117, 000 -
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おね	託時 日の 指い発行	部数(1	0. 18 名	J	0. 18	<u>位</u>). 18		0.18平成30年度	0.18		0 117, 000	
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おね	託 時 DO 指	部数(1	0. 18 名		0. 18	<u>位</u>	1.18 目標・9 目標 実績		0. 18 平成30年度 117, 000	0. 18 平成31年度 117, 000	117, 00	0 117, 000	
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おね	託時 日の 指い発行	部数(1	0. 18 名	J	0. 18	<u>位</u>	1.18 目標・月 目標 実績 目標		0. 18 平成30年度 117, 000	0. 18 平成31年度 117, 000	117, 00	0 117, 000	
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おね	託時 日の 指い発行	部数(1	0. 18 名	J	0. 18	<u>位</u>	1.18 目標・9 目標 実績		0. 18 平成30年度 117, 000	0. 18 平成31年度 117, 000	117, 00	0 117, 000	
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おお)	託 B DO 指 おつ発行 5 号の発	部数(1	0. 18 名		0. 18	<u>位</u>	18 目標・月 目標 実績 目標 実績		0. 18 平成30年度 117, 000 117, 340	0.18 平成31年度 117,000 116,940	117, 00 117, 94	0 117,000	117, 000
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おお)	託時 日の 指い発行	部数(1	0. 18 名		0. 18	<u>位</u>	B B B B B B B B B B		0. 18 平成30年度 117, 000 117, 340 70	0.18 平成31年度 117,000 116,940 70	117, 00 117, 94	0 117,000 0 -	
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おお) 4/19	託 B DO 指 おつ発行 5 号の発	部数(1行部数	0.18 名 回あたり		0.18	位 部 %	18		0. 18 平成30年度 117, 000 117, 340 70 70	0.18 平成31年度 117,000 116,940 70 70	117, 00 117, 94	0 117,000 0 -	117, 000
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おお) 4/19	託 B DO 指 おつ発行 5 号の発	部数(1行部数	0.18 名 回あたり		0.18	位 部	18	3 0	0. 18 平成30年度 117, 000 117, 340 70	0.18 平成31年度 117,000 116,940 70 70	117, 00 117, 94	0 117,000 0 -	117, 000
<mark>の内訳</mark> <4 .	嘱 臨 指標> 広報おお) 4/19	託 B DO 指 おつ発行 5 号の発	部数(1行部数	0.18 名 回あたり		0.18	位 部 %	18	3 0	0. 18 平成30年度 117, 000 117, 340 70 70	0.18 平成31年度 117,000 116,940 70 70	117, 00 117, 94	0 117,000 0 -	117, 000
On A Image: control of the con	嘱 臨 指標> 広報おお) 4/19	託 B DO 指 おつ発行 5 号の発	部数(1行部数	0.18 名 回あたり		0.18	位 部 %	18	3 0:	0. 18 平成30年度 117, 000 117, 340 70 70	0.18 平成31年度 117,000 116,940 70 70	117, 00 117, 94	0 117,000 0 -	117, 000

事業を明 社会環境	スプ かく しょ 中却 47 ナ 36 年 7	民が市政情報を知るための大切な媒体となっている。また、市民が読みやすく、分かりやす ことや、ICT化が進む中、様々な媒体による発信が求められている。
これまで や改善等		「動かす広報」をテーマに、読者の心を動かす広報紙をめざして、平成30年にリニューア インターネット等を活用した広報紙の発信に努めてきた。
項目別評価	評 価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	各所属等からの情報を集約し、市の政策やお知らせ等を迅速に分かりやすく市民へ伝える 情報発信媒体として市が発行する広報紙の製作は妥当である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上がっている □ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	広報おおつをきっかけに各種申し込み手続きを行うなど、市民と市との橋渡しとしての役割を担っているとともに、各世帯への配布や施設への設置をはじめ、多くの市民に情報を提供できていることから広報紙は有効性がある。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高い □ C. やや低い □ D. 低い	自治会を通じた広報おおつの配布に加え、公共施設、コンビニエンスストアなどへの配備 や、HP・データ放送で発信するなど、効率的に市政情報を市民に届けている。
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要	
	■ A 貢献している	広報おおつの発行は、市民が詳細な市政情報を知るために一番有効な媒体であり、「開か

施策への		広報おおつの発行は、市民が詳細な市政情報を知るために一番有効な媒体であり、 れた市政の推進」の実現に貢献している。	「開か
	□ C. あまり貢献していない □ D. 貢献していない		

______ <6. 今後の方向性> ACTION

_	<u> </u>	の方向性/ ACTION
		■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
I		□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
I	方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
I)) IF) IX	広報紙の配布方法なども含め、今後もより多くの市民が広報紙を手にとってもらえるよう継続的に検討するとともに、
I		市民がより見やすく、分かりやすい市政情報の発信媒体となるよう内容の充実に努める。
I		
IL		
I		広報紙は、市民にとって身近な市政情報源である。今後も市民が必要とする市政情報を提供するために市民の目線に立
I	部 局 長 コメント	った広報紙の発行に努めていく。
I	コメント	
ш		

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標 1	1,236 千円	1,259 千円	1, 257 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	+1.87 %	-0.14 %

する 中央 サスコン

				, 行	和る年月	吳	争務	争耒評個	ロンー	.		[令和 2:	年度事後評価]
整理			5									_	
部局	_	政策調整			所属	属名	広報課				基	谷口信	
事務事			市政広報	報事業						記力	人者	山崎	!
<u><1.</u>	基本事具											_	
	区分	コード			名		称			根	±bn.		
₩ Δ=L	方針	03						まちを創ります		法令			
総合計 画の位	政策	05	徹底した	た行財政改	【革を進め、確か	いな都市	7経営を進	めます					
置付け	施策	03	開かれた	た市政の推	進					関連	+ z		
	視点	02	オープ	ンデータ等	による市政情報	最の発信	<u> </u>			個別			
	重事	02	市政広	報活動の充	実								
887年	П	ード			事務	事業	名 称	i		Π-	- F	j	所属名称
関連 事業													
4- NC													
予	会	計	枠	事	業 種 別		予	算 事 業	名			始 期	• 終期
算	一般	会計	政策	評価対象	事業	市政広	報事業費						
事業													
耒													
								を設置し、報道					
事業の	。また、	ナレビ	・フンオ	一寺を保体	とした市政情報	番組の	制作・放	送やインターネ	ツト沽用に	よる情	報提供	に努めてし	,1る。
概要													
運営		■直営			者 ■ 民間委託	ŧ c	」出資団位	本委託 □ 補助	<u></u>	□ その)他 ()
	事業分				\ ####################################	3 /IL 7	T + 14						
	目 的		市政(ā	まちつくり)情報を広く抗	を供する	o7=Ø)、						
	「のため」			- > 1 - 1	L 2 - 2 + 1 - 1	11 -							
	対 象		市氏を「	甲心とした	:すべての者に対	すして							
	「又は誰		±□ >★ 1₩ E										
	手 段		報追機!	関、テレビ	、ラジオ、イン	ノターネ	ペットを沿	前して					
	ようなやり		√= τ <u>⊢</u> ↓ −		++ /++ *	, 117 ra	±+n & u +	- //. - /- [50] 7					
·	成果	•	仃奴と「	巾氏寺との	市政(まちづく	、り)情	育報の共有	11にを凶る。					
	な状態にす												
<3.	経費>	DO											
				30年度	平成31年度		2年度	令和 3年度	令和 4:			備	考

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	IIII ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
直	[接経費 A	19, 520	18, 244	47, 727	48, 500	49, 292	令和2年度からホームページ
人	、件 費 B	21, 021	19, 423	27, 218	27, 218	27, 218	運営事業を統合
事業	費合計 A+B	40, 541	37, 667	74, 945	75, 718	76, 510	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起債	0	0	0	0	0	
F J D/C	その他	0	0	1, 438	1, 475	1, 475	
	一般財源	40, 541	37, 667	73, 507	74, 243	75, 035	
職	員数(人)	3. 42	3. 37	4. 02	4. 02	4. 02	
[변화 등 왕년	正規	2. 30	2. 25	2. 90	2. 90	2. 90	
職員数 の内訳	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
OF 10/C	臨時	1. 12	1. 12	1. 12	1. 12	1. 12	

<4. 指標> DO

		指標名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		情報発信媒体数	種類	目標	10	10	10	10	10
活	1		性块	実績	12	12	13	-	_
活 動		情報発信媒体の年間種類数			,		,		
指		ホームページ公開依頼件数	件	目標	6, 000	6, 000	8, 000	8, 000	8, 000
標	2		1+	実績	8, 732	10, 223	12, 191	-	_
		各課からホームページに公開登録を依頼	される件数		,		,		
		報道機関がとりあげる年間報道件	件	目標	898	907	916	1, 650	1, 670
战	1	数	1+	実績	905	926	627	-	_
成 果		年間報道件数(R2までは市役所から報	道機関への年間資料	提供件数)	,		,		
指		ホームページの総アクセス数	千件	目標	11, 050	11, 050	12, 000	12, 400	12, 600
標	2		T1 T	実績	11, 832	12, 841	17, 877	_	_
		市ホームページの総アクセス数							

	情報伝達
これまでの見直し 報道機関に「伝わりやすい」プレスリリースを提供すること、また、市政広報番組やホームページ等で や改善等の経過 切な情報発信や市民にとって分かりやすい情報となるよう改善に努めてきた。	の適時適
項目別評価 評 価 理 由	
■ A 妥当である 多様な媒体の活用や報道機関を活用した広報活動は、速報性、広域性、経済性の観	点にお
<mark>妥当性</mark> □B. ほぼ妥当である いて総じて有効であるため、妥当である。	
<mark>(実施主体又は ̄ </mark>	
□ D. 妥当ではない	
有効性 ■ A. 上がっている 新型コロナウイルスの影響がある中でも、報道機関にプレスリリースを積極的に行	
<mark> 「事業分析の</mark> □	いては
記載の成果は 上がっている	
■ A. 高い 報道機関へのプレスリリースの提供による情報発信については経費を要せず、また	
$\frac{\mathbf{o}}{\mathbf{o}}$ 率 性 \mathbf{o}	が高い
<mark> </mark>	
か。) ロ D. 低い	
■ 1. 計画どおり事業を進めることが適当 □ 2. 事業の進め方に改善が必要	
□ 3. 事業規模や見直しが必要 □ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

		報道機関の活用やホームページ等インターネットを通じた情報発信は、市政情報を広範囲	
施策への	□ B. やや貢献している	に伝えることができ、「開かれた市政の推進」の実現に貢献している。	
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない		
	□ D. 貢献していない		

	口 2. 負款とているい
< 6. 今後	後の方向性> ACTION
方向性	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化 □ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他) □ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止 今後も報道機関に取り上げられるよう積極的にプレスリリースを行うとともに、市政広報番組、ホームページなどを活用し、市民にとって必要な情報を分かりやすく提供できるよう、市政広報活動の推進に努める。
部 局 長コメント	報道機関への積極的なプレスリリースをはじめとして、多様なメディアを活用した市政情報の発信は非常に重要である。 今後もタイムリーで効率的かつ効果的に市民が分かりやすい市政情報の発信に取り組んでいく。

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	100.77 %	102.09 %	68. 44 %
達成率	指標2	107. 07 %	116. 20 %	148. 97 %
成 果	指標1	- %	+2.32 %	-32. 28 %
増減率	指標2	- %	+8. 52 %	+39. 21 %
活動単位	指標1	3,378 千円	3, 138 千円	5, 765 _{千円}
コスト	指標2	4 _{千円}	3 _{千円}	6 千円
成果単位	指標 1	44 _{千円}	40 千円	119 _{千円}
コスト	指標2	3 千円	2 _{千円}	4 _{千円}
コスト増	減率	- %	-11.78 %	+118.37 %

整	理	番号		8												
部	F	る 名	政策調	圣 部	·		所原	属名 市正	政情報課			所属	<mark>禹 長</mark> 伊	賀 直樹		
事	務事	業名	01363	統計調	查推進事	業						記力	<mark>入者</mark> 上	田善彦		
< 1	. ;	基本事項	須>													
		区分	コード				名		称					津市統計調	查員候補者	
		方針 03 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります												登録に関す	る要綱	
総合	計	政策	05	徹底した	た行財政で	改革を進	め、確か	いな都市経営	営を進めま	す		法名	7 寺			
画の置付		施策	03		た市政の			·								
直刊	17	視点	02				市政情勢	服の発信				関連				
		重事	99	オープンデータ等による市政情報の発信 その他									計画			
_	=		ード	C 07 115			事務	事 業 名	7				- F	所 屋	名 称	
関連			•				T- 123	T / L	4 10.			_	•	771 71-20	D 144	
事業																
_	=	<u> </u>	計	枠	重	業種	민		子	事業	<u> </u>			始 期 ・ 終	Z ∰R	
予			会計		評価対象		נינל	/+=1===++		7 7	7 7			XD 750 小3	; 79 1	
算 事		刊又	云引	官垤	計巡刈多	(争未		統計調査推	進事業質							
業																
	_	統計注1	- 其づく	其於統計	<u>┃</u> ┣調本空ま	正確かっ	つ田海1-	宇施するた	- め - 必亜・	7 調本昌	た確保	し資質の向上	一致めてい	ス また	松本	
												し貝貝の向エ ホームページ				
事業概	(1)				月の推進を			*		.,,,						
TEST	女															
沙田	兴	方法	■ ± *	, <u> </u>	化中华节	H-# -	足門手-	1 🗆 1112	次日 仕まご		났마스-	\$ <i>H</i> □ 2.4	\#\ /		`	
		事業分		PLAN	指定管理	±13 U	以 則安	<u>. பд)</u>	資団体委託	, Ц	m则亚)	を付 □ その	718(J	
		事業刀1		_		全統計 調	杏笙の3	に施及び統計	+沓料の右	动活田					1	
		ロ ロ: [のため)		正曜で	17H .Q 42-1	פינם ום טעויוים	且可以为		11 52 17 07 17	2010111						
		対 象		登録統	計調査員、	統計デ										
		スリー 家 「又は誰?		丑邓小儿口	川岬且只、	, וטועה א	,									
			= :	钿太昌:	周査員不足地域の把握と必要人員の確保及び調査員研修等の実施。統計年鑑の作成等による統計情報の発信。											
(13		手 段		讷 且貝	_{調宜貝} 个と地域の把握と必安人貝の唯体及い調宜貝 団修寺の 美施。桃訂午鑑の作成寺による 就 計情報の羌信。											
(2		kうなやり 成 果		幺歩 壹↓ 壹田 ス	統計調査実施時、効率よく適正な調査事務を行なうことができる。活用しやすい統計情報を提供できる。											
	,	叹 未	-					て間会生がる		レがでコ	· ^ +					
(どのような状態にするのか)									全付なうこ	とができ	でる。活	用しつりいれ	允計1有報を1	を供ぐさる。		
_			するのか)	בניתם ום טעוי	且天心时、	. <i>x</i>)+-5	く 適 止 4	よ調食事務を	と打びつこ	とができ	ぎる。 沽	用しやすい前	允計1有報を1	を供ぐさる。		
_		i な状態にす 経費>											允計1育報 を加	正供じさる。		
_			するのか)	平成3	80年度	平成3	1年度	令和 2年	度 令	和 3年度	E 4	分和 4年度	ガ 計 竹 育 靫 を 北		考	
_		経費>	<u>するのか)</u> DO	平成3	80年度		1年度 (千円)	令和 2年 決算額(千	·度 令 ·円) 予算	和 3年度 算額(千円	E 气 1) 見	3和 4年度 込額(千円)	尤計1育報 を ±			
_		接経費	DO A	平成3	80年度 〔(千円) 765	平成3	1年度 (千円) 740	令和 2年 決算額(千	- 度 - 円) - 予算 - 548	和 3年度 「額(千円 (長 引) 見 328	3和 4年度 込額(千円) 828				
< 3	. / 直 人	経費> 接経費 件 費	DO A B	平成3	30年度 〔千円〕 765 5, 920	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395	令和 2年 決算額(干 7	度 令 子的 予算 548 7,338	和 3年度 算額(千円 { 6,	長 引) 見 328 150	3和 4年度 込額(千円) 828 6,150				
< 3	. / 直 人	接経費件費品合計の	D O A B A+B	平成3	30年度 〔千円〕 765 5, 920 6, 685	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135	令和 2年 決算額(干 7	一度 令 予算 548 7, 338 7, 886	和 3年度 算額(千円 { 6,	表 句 引) 見 328 150 978	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978				
<3	直人業	接経費件費費合計戶	D O A B A + B	平成3	80年度 〔千円〕 765 5,920 6,685 0	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135	令和 2年 決算額(干 7	デ度 令 デ円) 予算 548 7, 338 7, 886 0	和 3年度 算額(千円 6, 9	を 引) 見 328 150 078	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978				
<3	直人業	接経費 件費 費合計戶	DO A B A + B 国	平成3	80年度 〔(千円) 765 5,920 6,685 0	平成3	1年度 (千円) 740 5,395 6,135 0	令和 2年 決算額(干 7	F度	和 3年度 算額(千円 6, 9	を 第328 150 978 0	分和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210				
<3	直人業	接経費件費。	DO A B A+B E	平成3	30年度 〔千円〕 765 5, 920 6, 685 0 165	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162	令和 2年 決算額(干 7	F度	和 3年度 算額(千円 6, 9	表	分和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210				
<3	直人業	接経費 件費 費合計 戶	DO A B A + B 国 i 債 D b i D b i D i D i D i D i D i D i D i	平成3	30年度 (千円) 765 5, 920 6, 685 0 165 0	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0	令和 2年 決算額(千 7 7	F度 令 548 7, 338 7, 886 0 58 0 18	和 3年度 算額(千円 8 6, 6, 9	表	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0				
事業財内		接経費 件費 件費 起 その 一般	DO A B A+B E D D D D D D D D D D D D D D D D D D	平成3	30年度 〔千円〕 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502	平成3	1年度 (千円) 740 5,395 6,135 0 162 0 17 5,956	令和 2年 決算額(千 7 7	できます。 ・一円) 予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	和 3年度	を 328 150 978 0 210 0 23 745	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747				
<3		接軽費 件 費 起 その 一般	A B A + B 国	平成3	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956	令和 2年 決算額(千 7 7	デー円) 予算 548 7, 338 7, 886 0 58 0 18 7, 810 1, 02	和 3年度	表	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75				
Name		接経費 件費 表 日 日 明 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	A B A + B 国	平成3	30年度 (千円) 765 5, 920 6, 685 0 165 0 18 6, 502 0. 75 0. 75	平成3	1年度 (千円) 740 5,395 6,135 0 162 0 17 5,956 0.65	令和 2年 決算額(千 7 7	「一円) 「一一) 一一一 一一一	和 3年度 算額(千円 { 6, 5 6, 9 6, 9 6, 9	長 引) 見 328 150 078 0 210 0 23 745 75	公和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75				
Name		接経費 性 費 性 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I	平成3	30年度 (千円) 765 5, 920 6, 685 0 165 0 18 6, 502 0. 75 0. 75	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65	令和 2年 決算額(千 7 7	「一円) 「一一) 一一一 一一一	和 3年度 算額(千円 8 6, 6, 2 6, 0.	見 328 150 278 0 210 0 23 745 75 00	公和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00				
事業財職の職の		接経費〉 接経費費件合計 年 起 6 0 一般	A B A + B B I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成3	30年度 (千円) 765 5, 920 6, 685 0 165 0 18 6, 502 0. 75 0. 75	平成3	1年度 (千円) 740 5,395 6,135 0 162 0 17 5,956 0.65	令和 2年 決算額(千 7 7	「一円) 「一一) 一一一 一一一	和 3年度 算額(千円 8 6, 6, 2 6, 0.	長 引) 見 328 150 078 0 210 0 23 745 75	公和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75				
事業財職の名		接経費 性 費 性 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是	A B A + B D M IIII (人) 規託時 D O	平成3 決算額	30年度 (千円) 765 5, 920 6, 685 0 165 0 18 6, 502 0. 75 0. 75 0. 00 0. 00	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	できます。 ・一円) 予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	和 3年度	を 328 150 078 0 0 210 0 23 745 75 75 00 00	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0, 75 0, 00 0, 00		備 :	考	
事業財職の名		接種サールを表しています。 接経性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A B H B D 財 (人規託時 D D 指	平成3 決算額	30年度 (千円) 765 5, 920 6, 685 0 165 0 18 6, 502 0. 75 0. 75 0. 00 0. 00	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65	令和 2年 決算額(千 7 7	一円	和 3年度	月 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00	A 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 平成31年度	令和 2年度	備 =	考	
事業財職の名		接種サールを表しています。 接経性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	A B H B D 財 (人規託時 D D 指	平成3 決算額	30年度 (千円) 765 5, 920 6, 685 0 165 0 18 6, 502 0. 75 0. 75 0. 00 0. 00	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	FR	和 3年度	を 3) 見 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度	令和 2年 度	備 : 令和 3年 ; · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	考	
事業財職の名		接養費 接経費 長年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成 ³ 決算額 標 標 修会参	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 Minute of the control of the contro	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	一円	和 3年度	月 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00	A 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 平成31年度	令和 2年 度	備 =	考	
事業財職の名		接養費 接経費 長年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成3 決算額	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 Minute of the control of the contro	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	できる。 「一円) 予算 548	和 3年度	を 3) 見 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度	令和 2年 度	備 : 令和 3年 ; · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	考	
事業財職の名		接養費 接経費 長年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成 ³ 決算額 標 標 修会参	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 Minute of the control of the contro	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	Fe	和 3年度	を 3) 見 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度	令和 2年 度	備 : 令和 3年 ; · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	考	
事業財職の名		接養費 接経費 長年 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	A B A H B B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成 ³ 決算額 標 標 修会参	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 Minute of the control of the contro	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	できる。 「一円) 予算 548	和 3年度	を 3) 見 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00	3和 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度	令和 2年 度	備 : 令和 3年 ; · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	考	
事業財職の名	.	接費 接件 計 是 是 是 是 是 是 是 是 是	A B A + B D B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成3 決算額 標 研修会参	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 A	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	Female	和 3年度	見 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00 00	A 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 平成31年度 50 15	令和 2年度	備 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	要 令和 4年度 50 50 - -	
事業財職の名	.	接費 接件 計 是 是 是 是 是 是 是 是 是	A B A + B D B M M M M M M M M M M M M M M M M M	平成 ³ 決算額 標 標 修会参	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 A	平成3	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 65 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7	Female	和 3年度	を 引) 見 328 150 078 0 210 0 23 745 75 75 00 00 330年度 50 33 85	3和 4年度 込額 (千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度 50 15	令和 2年度 5	# ************************************	考	
事業財職の名		接費 大學	A B A + B D b D b D b D b D b D b D b D c Table 1 D c Table 2 D c D c D c Table 2 D c D c Table 3 D c D c Table 3 D c D c Table 3 D c Table 4 Table 4 </th <th>平成³ 決算額 標係会参加人 で参加人</th> <th>30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 ★加人数</th> <th>平成3 決算額</th> <th>1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 00 0. 00</th> <th>令和 2年 決算額(千 7 7 7 位 人</th> <th> FR</th> <th>和 3年度 算額(千円 6, 6, 9 6, 9 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0</th> <th>見 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00 00</th> <th>A 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 平成31年度 50 15</th> <th>令和 2年度</th> <th># ************************************</th> <th>要 令和 4年度 50 50 - -</th>	平成 ³ 決算額 標係会参加人 で参加人	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 ★加人数	平成3 決算額	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7 7 位 人	FR	和 3年度 算額(千円 6, 6, 9 6, 9 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	見 328 150 978 0 210 0 23 745 75 75 00 00 00	A 4年度 込額(千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 平成31年度 50 15	令和 2年度	# ************************************	要 令和 4年度 50 50 - -	
事業財職の名		接費 大學	A B A + B D b D b D b D b D b D b D b D c Table 1 D c Table 2 D c D c D c Table 2 D c D c Table 3 D c D c Table 3 D c D c Table 3 D c Table 4 Table 4 </th <th>平成³ 決算額 標係会参加人 で参加人</th> <th>30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 ★加人数</th> <th>平成3 決算額</th> <th>1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 00 0. 00</th> <th>令和 2年 決算額(千 7 7 7</th> <th> Section 2 Se</th> <th>和 3年度 算額(千円 6, 6, 9 6, 9 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0</th> <th>を 引) 見 328 150 078 0 210 0 23 745 75 75 00 00 330年度 50 33 85</th> <th>3和 4年度 込額 (千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度 50 15</th> <th>令和 2年度 5</th> <th># ************************************</th> <th>要 令和 4年度 50 50 - -</th>	平成 ³ 決算額 標係会参加人 で参加人	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 ★加人数	平成3 決算額	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7 7	Section 2 Se	和 3年度 算額(千円 6, 6, 9 6, 9 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	を 引) 見 328 150 078 0 210 0 23 745 75 75 00 00 330年度 50 33 85	3和 4年度 込額 (千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度 50 15	令和 2年度 5	# ************************************	要 令和 4年度 50 50 - -	
3 事の内 職の V 活動指標 成果指標 成果指標		接費 大學	A B A + B D b D b D b D b D b D b D b D c Table 1 D c Table 2 D c D c D c Table 2 D c D c Table 3 D c D c Table 3 D c D c Table 3 D c Table 4 Table 4 </th <th>平成³ 決算額 標係会参加人 で参加人</th> <th>30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 ★加人数</th> <th>平成3 決算額</th> <th>1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 00 0. 00</th> <th>令和 2年 決算額(千 7 7 7 位 人</th> <th> FR</th> <th>和 3年度 算額(千円 6, 6, 9 6, 9 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0</th> <th>を 引) 見 328 150 078 0 210 0 23 745 75 75 00 00 330年度 50 33 85</th> <th>3和 4年度 込額 (千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度 50 15</th> <th>令和 2年度 5</th> <th># ************************************</th> <th>要 令和 4年度 50 50 - -</th>	平成 ³ 決算額 標係会参加人 で参加人	30年度 (千円) 765 5,920 6,685 0 165 0 18 6,502 0.75 0.00 0.00 2 ★加人数	平成3 決算額	1年度 (千円) 740 5, 395 6, 135 0 162 0 17 5, 956 0. 65 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 7 7 7 位 人	FR	和 3年度 算額(千円 6, 6, 9 6, 9 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0	を 引) 見 328 150 078 0 210 0 23 745 75 75 00 00 330年度 50 33 85	3和 4年度 込額 (千円) 828 6, 150 6, 978 0 210 0 21 6, 747 0. 75 0. 00 0. 00 PR 31年度 50 15	令和 2年度 5	# ************************************	要 令和 4年度 50 50 - -	

事業を明 社会環境	X 7 & \ I = 1 = - + 7 = - +	高まりや生活環境の変化等により調査環境は年々厳しくなっており、調査困難なケースが増 、調査手法として、インターネット回答の推進が図られている。						
これまで や改善等	V) 元.但 し	調査員の不足する地域の調査員確保に努めるとともに、調査環境や調査方法の変化に対応できるよう、調査員の 研修の機会を確保し、資質の向上を図っている。						
項目別評価	評価	評 価 理 由						
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	市が統計調査員を登録制で確保し資質の向上を図ることは、統計調査実施時の調査員の円滑な選任及び正確な調査のために必要である。また、統計年鑑やおおつデータブックの作成、市ホームページでの迅速なデータ提供を行うことは、統計調査への理解を深め、統計調査資料の有効利用に向けた環境を提供する上で必要である。						
有 効 性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	□ A. 上がっている ■ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていない □ D. 上がっていない	登録調査員の高齢化など課題はあるが、統計調査実施時の調査員の選任において、有効に機能している。また、研修実施等による調査員の資質の向上により、効率よく適正な調査 事務が実現できている。						
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	□ A. 高い■ B. やや高い□ C. やや低い□ D. 低い	例年、調査環境や調査方法の変化の中で、時宜に応じた対応が可能となるよう、調査員の 資質の向上を目指した研修を実施している。(昨年度は、コロナウィルス感染症拡大防止 のため、実施せず。)また、当該研修は、県からの委託金を活用して実施している。						
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を進める □ 3. 事業規模や見直しが必要							
	ー ^ 子共していて							

		調査の正確性の確保、調査の円滑な実施、調査上の安全確保、個人情報保護等を念頭に置
施策への	□ B. やや貢献している	き調査員を確保することによって、各統計調査が正確かつ円滑に行うことができる。また 、統計情報の高度化とオープンデータ化の推進を図ることで、開かれた市政の推進に貢献
貢献度	□ C. あまり貢献していない	、杭計11年級の高度化とオープンゲーダ化の推進を図ることで、用かれた印政の推進に貝閣 している。
	□ D. 貢献していない	

4	く6. 今後	をの方向性> ACTION
		■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
		□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
	方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止
	力叫任	調査員の不足する地域における調査員確保に重点的に取り組み、大規模な調査の実施に備えるとともに、効果的な研修 を実施することにより、調査員の資質向上を図る。また、統計データの有効活用・利用拡大を図るため、オープンデー タ化の推進、データ活用に係る利便性の向上に努める。
ш		統計法に基づく基幹統計調査等を正確かつ円滑に実施するため、必要な調査員を確保するとともに、その資質の向上に 努める。また、市民が容易に統計データを利用できるよう統計情報ホームページ「おおつ統計なび」において常に最新 の情報を提供し、統計情報の利活用の推進を図る。併せて市ホームページにおける統計情報の提供内容の充実を図る。

区分	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目 標	指標1	100.58 %	97. 29 %	95. 52 %		
達成率	指標2	- %	- %	- %		
成 果	指標1	- %	-3. 27 %	-1.81 %		
増減率	指標2	- %	%	%		
活動単位	指標1	202 _{千円}	409 千円	0 千円		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
成果単位	指標1	78 _{千円}	74 _{千円}	97 千円		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
コスト増	減率	- %	-5.12 %	+30. 91 %		

整理	播号	1	0												
部	局 名	政策調	圣部			所属	<mark>属名</mark> 情報	最システ	テム課		所	属長	伊藤	義樹	
	事業名		地域情報	₩化推進 ³	事業						記	入者	北	良典	
<1.	基本事	項>													
	区分	コード				名		称			+=	4hn			
	方針	03	安心、惊	央適に住る	み続ける	ことのできる活力のあるまちを創ります									
総合計	政策	05	徹底した	と行財政は	改革を進	め、確か	いな都市経営	を進め	ります		/4	1) 4)			
画の位 置付け		03	開かれが	た市政の	推進								大津	市デジタル・	イノベー
直刊门	視点	02		ンデータ		市政情報	の発信					する	ショ	ン戦略	
	重事	01	_	・・・・・ 吸発信の		11 61 20 11	X-7-701H				———	引計画			
		<u>ード</u>	2025年	収元旧の		車	事 業 名	私				ード		所属名	* 称
関連		<u> </u>				十 仂	尹 未 1	ብ/Jv				- 11		刀 禹 1	1 4 ₁ / ₁
事業															
													<u> </u>		
予		計	枠		業種	別		予	算	業 名			始	期 ・ 終す	朝
算	一般	会計	政策	評価対象	事業		地域情報化:	推進事	業費						
事業															
未															
											こなって進める				
事業の											要な情報を提供			足進し、地域	
概要	ひが育報1	して推進	りる。ま	いこ、出則	明神性に	ょる人ぐ	小叙至を開	TE 9 る	ひて、	アンダルフ	デバイドの解注	⋾∊労の	つる。		
運営	方 法	■ 直営	ž 🗆	指定管理	■者 □	民間委託	£ 口出資	資団体	委託	□補助領	☆交付 ■ その	の他(県と	の連携)
	事業分		PLAN									\			,
	目的			。 吸化推進(のため、										
(4	可のため														
	对 多		市民を対	対象に											
	可又は誰		11,20,67	130101											
			√ II #	ロ/言さ,フェ	= 1 の刊	活用 われ	いわきコロー	-\^/: =	: Љ ∌	1、黒仏准の	協力を進め、				
	手 段	-	メール	にはン人	アムの利	活用やし	アイバのフリー	-vv i F	· 1 07 57	2.単化進の	励力を進め、				
	ようなやり		N == 1 -	L I. 7 l± 1	HD + 1 1.	11.15-15.4	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1111111	,						
	成 集	1	小男とこ	S要とされる情報をわかりやすく、適時に提供する。 											
	(A) 25 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1														
(どのよ	うな状態に	するのか)	2020	ご1 じの1月1	FIX C 17/3	9,091	、、迴吁に佐	E 拱 9 る	.						
(どのよ	うな状態に 経費>	するのか)	2000	2100 IH 3	FIX & 1777	9,09	、、適时に促	ETH 9 0	0 。						
(どのよ		するのか)	平成3	80年度	平成3		令和 2年			3年度	令和 4年度			備 老	
(どのよ		するのか)	平成3			1年度		度	令和		令和 4 年度 見込額(千円)			備考	
(どのよ く3 .		するのか) D O	平成3	80年度	平成3	1年度	令和 2年/ 決算額(千)	度	令和					備考	
(どのよ く3. 直	経費>	DO A B	平成3	80年度 [(千円)	平成3	1年度 (千円)	令和 2年 決算額(千) 19,	度 円) ⁻	令和	(千円)	見込額(千円)			備考	
(どのよ く3. 直	経費>	DO A B	平成3	80年度 (千円) 22, 798 14, 340	平成3	1年度 (千円) 19,366 6,640	令和 2年 決算額(千 19, 7,	度 円) ⁻ , 342 , 380	令和	(千円) 19, 371 9, 020	<mark>見込額(千円)</mark> 19, 222 9, 020			備考	
(どのよ く3 . 直 事業	経費> 直接経費 件費 費合計/	DO A B	平成3	80年度 [(千円) 22, 798	平成3	1年度 (千円) 19,366	令和 2年 決算額(千 19, 7,	度 円) ⁻	令和	(千円) 19,371	<mark>見込額(千円)</mark> 19, 222	!		備考	
(どのよ く3 . 直 事業	経費> 直接経費 件費 費合計/	D O A B A+B	平成3	80年度 (千円) 22, 798 14, 340 37, 138	平成3	1年度 (千円) 19,366 6,640 26,006	令和 2年 決算額(千 19, 7,	度 円) ⁼ , 342 , 380 , 722 0	令和	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0	<mark>見込額(千円)</mark> 19, 222 9, 020 28, 242 0			備考	
(どのよ く3 . 直 事業	経費> 直接経費 件費 費合計/	DO A B A+B I	平成3	30年度 (千円) 22,798 14,340 37,138 0	平成3	1年度 (千円) 19,366 6,640 26,006 0	令和 2年 決算額(千 19, 7,	度 円) = 342 , 380 , 722 0	令和	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0	<mark>見込額(千円)</mark> 19, 222 9, 020 28, 242 (備考	
(どのよ く3. 直	直接経費 件費 費合計 戶	DO A B A H B G	平成3	80年度 i(千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0	令和 2年 決算額(千 19, 7,	度 円) ⁻³ , 342 , 380 , 722 0 0	令和	(千円) 19,371 9,020 28,391 0 0	<mark>見込額(千円)</mark> 19, 222 9, 020 28, 242 ((備考	
(どのよ く3 . 直 事業	経費> 直接経費 件費 費合計/ 起	DO ABA+B 国 情 の D の の は の は の は の は の は の は の は の は の	平成3	80年度 i(千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26,	度 円) ³ - , 342 , 380 , 722 0 0 0	令和	(千円) 19,371 9,020 28,391 0 0 0	<mark>見込額(千円)</mark> 19, 222 9, 020 28, 242 ((((備考	
(どのよ く3. 事業財 事の内	経費>	DO A B A+B 国 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	平成3	80年度 (千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 0	平成3	1年度 (千円) 19,366 6,640 26,006 0 0 0	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26,	度 円) = 342 . 342 . 380 . 722 0 0 0 0	令和	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391	<mark>見込額(千円)</mark> 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 0 0 0 28, 242			備考	
(どのよ く3. 事業財票 職	経費>	A B A + B 国	平成3	80年度 i (千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 0 37, 138	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 0 26, 006	令和 2年/ 決算額(千) 19, 7, 26,	度 (342) (380) (722) (0) (0) (0) (722) (0.90)	令和	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1, 10	見込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 ((((28, 242 1, 10			備考	
(どのよ く3. 事業財票 職	経費>	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成3	80年度 (千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 0 26, 006 0.80	令和 2年 決算額(干 19, 7, 26,	度 (342) (380) (722) (0) (0) (0) (0) (722) (0) (90) (0) (90)	令和	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10	見込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 0 28, 242 1, 10			備考	
(どのよ く3. 事業財票 職	経費> 直接経費 費合計・ しません。 一般 しません。 一般 しません。 一般	A B A + B 国 I I I I I I I I I I I I I I I I I I	平成3	80年度 (千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60 0. 40	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 0 26, 006 0. 80 0. 80	令和 2年/ 決算額(干! 19, 7, 26,	度 (342) (380) (722) (0) (0) (0) (722) (0) (90) (0) (0)	令和	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1, 10 1, 10 0, 00	見込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 ((((28, 242 1, 10 0, 00			備考	
(どのよ (3) 事業財 職の内 職の内	経費> 直接経費 費 供合計 ルール との しゅう しゅう しゅう 数 正 嘱 臨	A	平成3	80年度 (千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 0 26, 006 0.80	令和 2年/ 決算額(干! 19, 7, 26,	度 (342) (380) (722) (0) (0) (0) (0) (722) (0) (90) (0) (90)	令和	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10	見込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 0 28, 242 1, 10			備考	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費> 直接経費 費合計・ しません。 一般 しません。 一般 しません。 一般	DO	平成3 決算額	80年度 (千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60 0. 40 0. 00	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00	令和 2年/ 決算額(千/ 19, 7, 26, 26, (0	度 (342) (380) (722) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0	予算額	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00	見込額 (千円) 19, 222 9, 020 28, 242 (((28, 242 1, 10 0, 00 0, 00				
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費〉 は接経費 供合計 が 見 を で	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成3 決算額	0年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 0 26, 006 0. 80 0. 80	令和 2年/ 決算額(干! 19, 7, 26,	度 342 380 722 0 0 0 0 0 722 0.90 0.90 0.00 0.00	予算額・実績	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00	見込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 28, 242 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00	令和:	2年度	令和 3年度	令和 4年度 30
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費〉 は接経費 供合計 が 見 を で	A B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	平成3 決算額	0年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00	令和 2年/ 決算額(千/ 19, 7, 26, 26, (0	度 円) 342 380 722 0 0 0 0 722 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算額	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 PR成30年月	月込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 28, 242 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 0. 00	令和:	2年度 30		令和 4年度 30
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費 > 直接程費 費 件合計 / 一般	A B A H B A B A B A B A B A B A B A B A	平成3 決算額	80年度 i(千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60 0. 40 0. 00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26, 26, 0 0 0 位	度 円) 342 380 722 0 0 0 0 722 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算額・実績	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 PR成30年月	見込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 28, 242 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00	令和:	2年度	令和 3年度	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費 > 直接程費 費 件合計 / 一般	A B A H B A B A B A B A B A B A B A B A	平成3 決算額	0年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26, 26, 0 0 0 位	度 (342) (380) (722) (0) (0) (0) (722) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0	予算額・実績標績	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 PR成30年月	月込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 28, 242 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 0. 00	令和:	2年度 30	令和 3年度	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費 > 直接程費 費 件合計 / 一般	A B A H B A B A B A B A B A B A B A B A	平成3 決算額	80年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26, 26, 0 0 0 位	度 342 380 722 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 予算額 実 標 積	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 PR成30年月	月込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 28, 242 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 0. 00	令和:	2年度 30	令和 3年度	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費 > 直接程費 費 件合計 / 一般	A B A H B A B A B A B A B A B A B A B A	平成3 決算額	80年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26, 26, 0 0 0 位	度 342 380 722 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	予算額・実績標績	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 PR成30年月	月込額(千円) 19, 222 9, 020 28, 242 0 0 28, 242 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 0. 00	令和:	2年度 30	令和 3年度	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費 接件	ABA + BBA	平成3 決算額 標標	80年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26, 26, 0 0 0 位	度 342 380 722 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 予算額 実 標 積	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 PR成30年月	見込額(千円) 19,222 9,020 28,242 0 0 28,242 1.10 1.10 0.00 0.00 東 平成31年度 88 28	令和	2年度 30 32	令和 3年度 30 -	30
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費 接件	A B A H B A B A B A B A B A B A B A B A	平成3 決算額 標標	80年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年/ 決算額(千) 19, 7, 26, (0) (0) 位 件	度 342 380 722 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 予算額 実 標 積	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1.10 0.00 0.00	月込額(千円) 19,222 9,020 28,242 (C)	令和	2年度 30 32 0,000	令和 3年度	
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費 接件	ABA + BBA	平成3 決算額 標標	80年度 i(千円) 22,798 14,340 37,138 0 0 0 37,138 2.00 1.60 0.40 0.00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年 決算額(千 19, 7, 26, 26, 0 0 0 位	度 円) 342 380 722 0 0 0 0 722 0 0, 722 0 0, 90 0, 90 0, 00 0, 00 0 = 1 目標・ 目標・	令和 予算額 実績 標績 標績	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 28, 391 1. 10 1. 10 0. 00 0. 00 PR成30年月	月込額(千円) 19,222 9,020 28,242 (C)	令和	2年度 30 32	令和 3年度 30 -	30
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費	A B A H B A A B A A B A A B A A B A B A	平成3 決算額 標標	30年度 i(千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60 0. 40 0. 00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年/ 決算額(千) 19, 7, 26, (0) (0) 位 件	度 円) 342 380 722 0 0 0 0 722 0 0, 722 0 0, 90 0, 90 0, 00 0, 00 0 = 1 目標・ 目標・	令和 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 ·	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1.10 0.00 0.00	月込額(千円) 19,222 9,020 28,242 (C)	令和	2年度 30 32 0,000	令和 3年度 30 -	30
(どのよ く3. 事業財 職の内 職の方 く4.	経費	A B A H B A A B A A B A A B A A B A B A	平成3 決算額 標件数 標件数 と	30年度 i(千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60 0. 40 0. 00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年/ 決算額(千) 19, 7, 26, (0) (0) 位 件	度 円) 342 380 722 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 · 有 ·	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1.10 0.00 0.00	月込額(千円) 19,222 9,020 28,242 (C)	令和	2年度 30 32 0,000	令和 3年度 30 -	30
でのよ (どのよ) 事業財職 職の (4) 活動指標	経費	A B A H B A A B A A B A A B A A B A B A	平成3 決算額 標件数 標件数 と	30年度 i(千円) 22, 798 14, 340 37, 138 0 0 0 37, 138 2. 00 1. 60 0. 40 0. 00	平成3 決算額	1年度 (千円) 19, 366 6, 640 26, 006 0 0 26, 006 0. 80 0. 80 0. 00 0. 00	令和 2年/ 決算額(千) 19, 7, 26, (0) (0) 位 件	度	令和 予算額 実績 標績 標績	(千円) 19, 371 9, 020 28, 391 0 0 0 0 28, 391 1.10 0.00 0.00	月込額(千円) 19,222 9,020 28,242 (C)	令和	2年度 30 32 0,000	令和 3年度 30 -	30

事業を耳 社会環境		国の策定した自治体いる。							
これまで や改善等			消のために、出前講座においてスマートフォン等の基礎講座への取組を開始した。また、滋 同で、びわ湖フリーWiFiポータルサイトを運営し市民への周知に努めている。						
項目別評価		評価	評 価 理 由						
	■ A. ⅓	妥当である	市の保有する情報や市民が必要とする情報を適時発信するための取組であり、また、県と						
妥当性	□ B. I	まぼ妥当である	の連携も必要であることから妥当である。						
(実施主体又は手段は妥当か)	□ C. å	あまり妥当ではない							
	□ D. ⅓	妥当ではない							
有 効 性	■ A	上がっている	モバイル端末や無線通信手段が普及したことにより、情報提供の手段として有効である。						
(事業分析の 「成果」欄に	□ B. ₹	やや上がっている							
記載の成果は上がっている	□ C. å	あまり上がっていない							
か)	□ D	上がっていない							
+1 ++ +4	■ A. F	高い	市民が必要とする情報を適時発信できていることに加え、県とも連携しており、効率性は						
効 率 性 (事業手法は効	□ B. ⊀	やや高い	高い。						
率的である か。)	□ C. 4	やや低い							
/J·。)	□ D. 似	氐い							
総合評価	■ 1. 言	計画どおり事業を進める	ることが適当 口 2. 事業の進め方に改善が必要						
↑ □ □ □	□ 3. 특	事業規模や見直しが必要	□ 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要						
	■ A. J	貢献している	市民生活や社会環境の変化に対応した事業を進めることで、施策の目標達成に貢献できて						
施策への	□ B. 1	やや貢献している	いる。						
貢 献 度	□ C. å	あまり貢献していない							

□ D. 貢献していない <6. 今後の方向性> ACTION

<u> </u>	EUDINEZ ACII	ON				
	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの上で継続	(1. 拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合 □ 2-6.そ	の他)			
方向性	口 3.終期の設定	□ 4.終了()	□ 5. 休止	□ 6. 廃止	
7) III II	メール配信システムについ	いて引き続き活用していくとと	もに、びわれ	胡フリーWiFi	についても、引き続き設	置促進の
	支援を行っていく。また、	デジタルデバイド解消のため	の出前講座へ	への取組を進めて	いく。	
		ヽては、引き続き活用を図って		こ、WiFi環境	の整備促進については、	各施設に
部局長	おいて新規設置時に技術情	青報の提供や必要な支援を行っ	ていく。			
コメント						

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目 標	指標1	121.56 %	122. 67 %	123. 35 %		
達成率	指標2	- %	- %	- %		
成 果	指標1	- %	+0.91 %	+13.30 %		
増減率	指標2	- %	%	%		
活動単位	指標1	1,160 _{千円}	812 _{千円}	835 _{千円}		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
成果単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	0 千円		
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円		
コスト増	減率	- %	-30.60 %	-9.30 %		

				13	<u></u>										<u></u>		
		-	政策調整				所属	<mark>島名</mark> イノ	ノベーショ	ョン単	线略室		_		中川		
_		事業名		先進的性	青報化推議	進事業							記力	入者	土井	淳嗣	
< 1	<u>. </u>	基本事項															
		区分	コード				名		称	Į,			規	拠			
us L	÷Τ	方針	03					できる活力の		-	ります			拠 合等			
総合画の		政策	05				め、確か	かな都市経営	を進めま	Eす						****	
置作		施策	03		た市政の打								関連	ナス		市デジタル ン戦略	イノベー
		視点	02		ンデータ		市政情報	最の発信					関連 個別		ンョ	ン戦略	
		重事	01	地域情報	報発信の												
関	'車		ード				事務	事 業 名	称					ード		所属	名 称
事													\Box				
				<u> </u>													
亨	Ş	会		枠		業種り	削		予第	事	業	<u> </u>			始	期・終	期
算	軍	一般	会計		評価対象	え事業		先進的情報化	化推進事	業費			_				
事業	¥				<u> </u>			_ 									
				- 1, H					A				15.63		\ <u>-</u>		
								-ビスやビジネ :げることを目									
事業				企耒活製 を行って)治圧に」	1 1- 2.0	170-6-6	当的につ	٠, .	オーノン	'フ -	メルスいっ	·— , , ,	r- ,	ソルロロシッ	E
概	要	~	/	C	•												
																	
			■直営		指定管理	1者 ■	民間委託	t 口出資	資団体委託	托	□ 補助	金交任	寸 □ その)他 ()
<u>< 2</u>		事業分		PLAN			~ AII			- /3			- 14.1-		- 102 9		
		目 的			サービス ² つなげる:			出、行政の透 て.	明性问工	. 1±	民の行政	反参画	の促進に	たり、 1:	企業;	活動や地域	の活性
	- ''	可のためし	<u> </u>	· -			IDC し、	- `									
		対 象		市が保ィ	有するデ-	ータを、											
		可又は誰で	= :	· =,	<u> </u>		L J .										
		手 段		オーフ	ンデータ。	として公	開するこ	ことで、									
(8		ようなやり															
				市民や1	i民や企業等により多くのデータが活用されるもの。												
(12)	0 1 3	4-11-451-		<mark>成 果 市民や企業等により多くのデータが活用されるもの。</mark>													
_	どのような状態にするのか)																
_		経費>															
_					80年度	平成3		令和 2年月			3年度		口 4年度			<u>借</u>	
_	3.	経費>	DO		(千円)	平成3	(千円)	決算額(千F	円) 予:		3年度 (千円)		和 4年度 額(千円)			備考	
_	直	接経費	DO A				(千円) 1,336	決算額(千F 2,	<mark>円) 予:</mark> , 376							備考	
\(\frac{3}{2}\)	直 人	経費>	D O A B		(千円) 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640	決算額(千F 2, 6,	<mark>円) 予:</mark> , 376 , 785		(千円) 0 0		額(千円)			備考	
\(\frac{3}{2}\)	直 人	経費>	A B A+B		(千円) 0 0 0	決算額	(千円) 1,336	決算額(千F 2, 6,	<mark>円) 予:</mark> , 376		(千円) 0		額(千円)			<mark>備 考</mark>	
~ 3	直 人	経費> 接経費 、件費 費合計 A	A B A+B		(千円) 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640	決算額(千F 2, 6,	<mark>円) 予:</mark> , 376 , 785		(千円) 0 0		額(千円)			備考	
	直人業費	経費> 「接経費」 件費 費合計 A	DO A B A+B E		(千円) 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976	決算額(千F 2, 6,	円) 予会 , 376 , 785 , 161		(千円) 0 0 0		額(千円) 0 0 0			備考	
事	直人業費源	接経費 件費 費合計 戶 男	A B A+B		0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1, 336 6, 640 7, 976 0	決算額(千F 2, 6,	円) 予: , 376 , 785 , 161 0		(千円) 0 0 0 0		額(千円) 0 0 0 0			備考	
事	直人業費	経費> 「接経費」 供費 養合計 A 「場	DO A B A+B 国 員		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 0	決算額(千F 2, 6, 9,	円) 予: , 376 , 785 , 161 0 0 0 0		(千円) 0 0 0 0 0		額(千円) 0 0 0 0 0			備考	
事の内	3.	経費> 接経費 件費 合計 A 見 見 見	A B A + B B I I I I I I I I I I I I I I I I I		0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0	決算額(千F 2, 6, 9,	円) 予: , 376 , 785 , 161 0 0 0		(千円) 0 0 0 0 0 0		額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0			備 考	
事の内	直人業費源	接程費	A B A + B 国 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I 使 I		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 0	決算額(千F 2, 6, 9,	円) 予: , 376 , 785 , 161 0 0 0 0		(千円) 0 0 0 0 0 0 0		額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0			備考	
事の内 耳	直人業費源訳	経費> 接経費 件費 合計 A 見 見 見	A B A + B 国 I 債 D 他 財源 (人) 規		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 0 0 7,976	決算額(千F 2, 6, 9, 9,	円) 予: 376 ,785 ,161 0 0 0 0 0 161		(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0		額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0			備考	
事の内	直人業 費源訳	接養費 養費費 供合計 A 原 起 C 一般 員 数 正 嘱	A B H B D M M M M M M M M M M M M M M M M M M		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00	決算額(千F 2, 6, 9, 0 0 0 0	円) 予: . 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 . 79 0. 00		(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		額(千円) 0			備考	
事の内 環の 職の	3. 直人業 費源訳 数訳	接費 大	A B H B D M III M		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 0 7,976 0.80 0.80	決算額(千F 2, 6, 9, 0 0 0 0	円) 予: . 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 0. 79		(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			備考	
	3. 直人業 費源訳 数訳	接養費 養費費 供合計 A 原 起 C 一般 員 数 正 嘱	A B H B D M M M M M M M M M M M M M M M M M M		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00	決算額(千F 2, 6, 9, 0 0 0 0	円) 予: . 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 . 79 0. 00		(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		額(千円) 0			備考	
事 事の内 職の	3. 直人業 費源訳 数訳	接種サールを表現しています。 「おおり」を表現しています。 「ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	DO A B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B B B B	決算額	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00	決算額(千F 2. 6, 9, 0 0 0 0	円) 予: . 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 . 79 0. 00	算額	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00	令和 24	年度	備 考	
事 事の内 職の	3. 直人業 費源訳 数訳	接種サールを表現しています。 「おおり」を表現しています。 「ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	DO A B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B B B B	決算額	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00	決算額(千F 2, 6, 9, 0 0 0 位	円) 予: 376 ,785 ,161 0 0 0 0 ,161 0.89 0.79 0.00 0.10	算額· 実績	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00	令和 24			令和 4年度
事 事の内 職の	3. 直人業 費源訳 数訳	接種サールを表現しています。 一般を表現しています。 「おります」を表現しています。 「まります」を表現しています。 「まります。」 「まりまする。」 「まります。」 「まります。」 「まりまする。」 「まりまする。	DO A B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B H B D B B B B	決算額	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00	決算額(千F 2, 6, 9, 0 0 0 0	円) 予: 376 785 161 0 0 0 0 161 0.89 0.79 0.00 0.10	算額· 実績	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00	令和 24	年度	令和 3年度	令和 4年度
事 事の内 職の	3. 直人業 費源訳 数訳	経費	DO A B A H B B I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額 標 ンデータ	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千F 2, 6, 9, 0 0 0 位	円) 予: 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 . 79 0. 00 0. 10 . 目標・賃	実	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 24	年度 444	令和 3年度	令和 4年度
事 事の内 職の	3. 直人業 費源訳 数訳	経費	DO A B A H B B I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額 標 ンデータ	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 . 79 0. 00 0. 10 . 目標・賃	実績の数	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 24	年度 444	令和 3年度	令和 4年度
事 事の内 職の	3. 直人業 費源訳 数訳	経費	DO A B A H B B I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額 標 ンデータ	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 0. 79 0. 00 0. 10 . 目標・9 . 実績 ンデータ	実績の数	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 24	年度 444	令和 3年度	令和 4年度
事 事の内 職の	直人業費源訳	経費	DO A B A H B B I I I I I I I I I I I I I I I I I	決算額 標 ンデータ	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	決算額	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 ,785 ,161 0 0 0 0 ,161 0.89 0.79 0.10 目標・写	実績の数	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 24	年度 444	令和 3年度	令和 4年度
事 事の内 職の	直人業費源訳	接費 接件 最近 最近 日期 日期 日期 日期 日期 大津市 大津市	DO A B + B B 付 M M M M M M M M M M M M M M M M M	決算額 標 ンデータ データホ	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ナイトでな	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 ,785 ,161 0 0 0 0 ,161 0.89 0.79 0.10 目標・写	実績の数	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	◆ 令和 2 2	年度 444	令和 3年度	令和 4年度 492
事 事の内 職の	直人業費源訳	接費 接件 4 5 6 6 7 8 8 9 9 10 10 10 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 10 11	DO A B + B B 付 M M M M M M M M M M M M M M M M M	決算額 標 ンデータ データホ	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ナイトでな	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 161 0. 89 0. 79 0. 00 0. 10 目標・写	実 ((千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込 0 0 0	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2 ²	年度 444 458	令和 3年度 468	令和 4年度 492
事 事の内 職の	3.	接費 接件 最近 最近 日期 日期 日期 日期 日期 大津市 大津市	DO A B H B D B D B D B D B D D D D D D D D D	決算額 ボデータホ データホ	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ナイトでな	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 0. 79 0. 00 0. 10 . 目標・写表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	実 ((千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込 「 「 「 「 「 「 「 「 「 	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2 ²	年度 444 458	令和 3年度 468	令和 4年度 492
事 事の内 職の	3.	経費 接件件 最近 その 上場 その おおり 上場 大人	DO A B H B D B D B D B D B D D D D D D D D D	決算額 ボデータホ データホ	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ナイトでな	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 0. 79 0. 00 0. 10 . 目標・写 目標	実績 の数	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込 「 「 「 「 「 「 「 「 「 	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2 ²	年度 444 458	令和 3年度 468	令和 4年度 492
事の内 環の 職の	3.	経費 接件件 最近 その 上場 その おおり 上場 大人	DO A B H B D B D B D B D B D D D D D D D D D	決算額 ボデータホ データホ	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ナイトでな	(千円) 1,336 6,640 7,976 0 0 7,976 0.80 0.80 0.00 0.00	決算額(千斤 2, 6, 9, 0 0 0 位 個	円) 予: 376 . 785 . 161 . 0 . 0 . 0 . 161 . 0. 89 0. 79 0. 00 0. 10 . 目標・写表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	実施を制める数	(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	見込 「 「 「 「 「 「 「 「 「 	額(千円) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 2 ²	年度 444 458	令和 3年度 468	令和 4年度 492

事業を明 社会環境	メッケー ナフドルサカノ	オープンデータを有効に活用していただくためには、市のデータを市民が利用しやすい形で、で 公開することが重要な課題である。
これまで や改善等	V 元.但.し	については所管課のみならず全庁的な課題と捉え、オープンデータ化を推進している。令和2年 データセットの所属を対象にした研修を開き、当室の職員が協同してデータの公開を行った。
項目別評価	評価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)	■ A. 妥当である □ B. ほぼ妥当である □ C. あまり妥当ではない □ D. 妥当ではない	市保有のデータのオープンデータ化やその活用推進は地域経済の活性化等地域課題の解決 に寄与できる事業であり、市として取り組むべき事業である。
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	■ A. 上がっている □ B. やや上がっている □ C. あまり上がっていた □ D. 上がっていない	オープンデータポータルサイトの閲覧数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響と思われ目標を下回っているものの、閲覧ユーザー数は昨年度の1692人から1992人と約2割増加したことから、市民サービス向上に一定寄与しているものと考える。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高い □ B. やや高い □ C. やや低い □ D. 低い	滋賀大学データサイエンス学部と協同して、効果的、効率的な取組を行っている。
総合評価	■ 1. 計画どおり事業を追□ 3. 事業規模や見直しか	
	■ A. 貢献している	市の情報を利用しやすい形で市民に公開するものであり、開かれた市政の推進という観点

施業への □ □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		>(1), 0	市の情報を利用しやすい形で市民に公開するものであり、開かれた市政の推進という観点 では本事業は施策に貢献している。
		□ B. やや貝臥している	
	貝 锹 岌	┃ □ C. あまり頁献していない ┃ □ D. 貢献していない	

< 6. 今後	その方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 (□ 5. 休止 □ 6. 廃止
力间往	全庁横断的にオープンデータ化を推進するとともに、滋賀大学データサイエンス学部との連携やイベント情報集約サイ
	トの有効活用などにより、オープンデータの活用や分析結果の有効利用を進めてきた。今後、当該事業はデータ活用推
	進事業及び情報政策推進事業に分割統合したため、令和2年度で廃止とするが、取組は各事業に引き継ぐ。
如巴匡	市民参加や官民連携の推進を通じた地域課題の解決や経済活性化、さらには行政の透明性、信頼性の向上に寄与する事
部局長コメント	業であり、今後は、分割統合後の各事業によりオープンデータの拡充や利用促進を図っていく。
コメント	

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	0.00 %	85. 53 %	75. 17 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	±0.00 %	-7. 71 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	0 _{千円}	18 千円	20 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標1	0 _{千円}	0 _{千円}	0 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	±0.00 %	+24. 46 %

古沙古坐司压》

				_ 节和	3年度	争務爭果	ミ評価ン-	- /	[[令和 2年度事後評価]
整理	番号	4	17	<u> </u>						
部局	3 名	市民部			所属名	市民相談室			属 長	北脇 康二
事務事			コール	センター管理運営	事業			記力	人者	北脇 康二
< 1.	基本事項	項>								
	区分	コード			名	称		#B	4hn	-
A =1	方針	03	安心、忭	、 皮適に住み続ける	ことのできる	活力のあるまちを創	創ります		拠 h等	
総合計 画の位	政策	05	徹底した	た行財政改革を進	≟め、確かな都	『市経営を進めます		/	71	
置付け	施策	03		た市政の推進				887本		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	視点	02	オープご	ンデータ等による	市政情報の発	:信		関連 個別	りる 計画	!
	重事	03	広聴の	充実と対話の推進	<u>ā</u>			1111111	ш	
即冲		ード			事務事	業 名 称		==	ード	所属名称
関連 事業										
7.10										
予	会	計	枠	事業種	別	予算	事業名			始期 • 終期
算	一般	会計	特定	評価対象事業	コー	ルセンター管理運営	営事業費			
事業										
	<u> </u>									
						約し、オペレータが				
事業の	報をもと	1に地迷	かつ過り]な電話対心と人.	ムー人な担ヨ詩	課への引継ぎを実現	えし、巾氏サーロ,	人の向上	.と仃以-	事務の改善を行う
概要	°									
	<u> </u>									
運営	方法	口 直営	<u> </u>	指定管理者 ■	民間委託	□ 出資団体委託	□ 補助金交付	□ その)他 ()
<2.	事業分	<u>析> 「</u>	PLAN							
	目 的	j	市民サ-	-ビスの向上を図	るため、また	: 、行政事務の効率(化を図るため。			
(何	可のために	(E)								
7	対象	į.	大津市民							
(作	可又は誰	を)								
-	手 段	ž					FAQ等行政情報	により=	ュールセ	ソンターで回答完了し、
(どのん	ようなやり	り方で)	回答不可	可能なものは業務	亦管課へ的確	に転送する。				

(どのような状態にするのか) <3. 経費> DO

成 果

<u> </u>	性負/ ひひ						
		平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	備考
		決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	見込額(千円)	V HI -7-5
直	接経費 A	47, 271	47, 342	54, 596	56, 175	56, 175	
人	、件 費 B	7, 475	9, 835	12, 604	5, 523	7, 573	
事業領	費合計 A+B	54, 746	57, 177	67, 200	61, 698	63, 748	
	国	0	0	0	0	0	
事業費	県	0	0	0	0	0	
の財源 内 訳	起 債	0	0	0	0	0	
r J H/C	その他	6, 570	6, 390	4, 279	3, 482	3, 482	
	一般財源	48, 176	50, 787	62, 921	58, 216	60, 266	
職	員 数 (人)	1. 10	1.50	1. 95	0.88	1. 13	
마 무 *-	正規	0. 80	1.00	1. 29	0. 55	0. 80	
職員数 の内訳	嘱託	0. 30	0. 50	0.00	0.00	0.00	
OF 10/C	臨 時	0.00	0.00	0. 66	0. 33	0. 33	

問合せ窓口のワンストップ化や、高い電話応対技術による標準化された回答により、市民サービスが向上する。 コールセンターにおける回答件数を増やすことで、市の業務所管課の対応に係る負担が軽減する。

<4. 指標> DO

Ė																
		指標名	単位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度							
		応答率	%	目標	95	95	90	95	95							
活	1		70	実績	95. 7	96. 7	87. 2	-	-							
活動指		応答件数/着信件数														
指		担当課指名入電転送時間(令和2	秒	目標	40	40	25	20	20							
標	2 年度より平均応答時間を適用)	የ ታ	実績	38. 3	37. 9	13	-	-								
		転送希望電話が担当課に繋がるまでの時	間(令和2年度より)	適用する指標	の計算式	合計応答時間	÷応答件数)								
		回答率(令和2年度より市民満足	%(点)	目標	50	50	4	4	4							
成	1	度総合評価を適用)	70 (点)	実績	31. 9	34	4. 9	-	-							
成 果		回答件数/応答件数(令和2年度より市民満足度総合評価(5点満点)の平均点数)														
指標		回答完了応対時間	時間	目標	7, 000	7, 000	5, 000	5, 000	5, 000							
標	2		⊬寸[目]	実績	4, 799	4, 957	4, 291	_	_							
		オペレーターで回答完了した電話の年間	応対時間(スキル向	上及びFAG	充実により	時間が短縮)			オペレーターで回答完了した電話の年間応対時間(スキル向上及びFAQ充実により時間が短縮)							

事業を取 社会環境			民生活における情報ニーズが多様化する中、市の事業等に関する問い合わせも多種多様であ して迅速で質の高いサービスを提供することが求められている。
これまで や改善等			、令和2年度10月より、公募型プロポーザルにより選定した新たな受託者によって運営し も問題なく、運営状況も良好である。引き続き応対力向上に努める。
項目別評価	評	価	評 価 理 由
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)		ぎ妥当である まり妥当ではない	コールセンター業務の実績を有する民間事業者への委託により、専門的で経験豊富なオペレータが迅速で丁寧な応対が行われていることから、妥当である。
有 効 性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ C. あ	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	成果指標でみられるとおり、市民満足度も高く、オペレーターのスキル向上やFAQの充実による市民への回答完了時間も短縮している。また、令和2年5月の新型コロナウイルス感染症対策に伴う庁舎立入禁止時は、支所とともに市民サービス継続の一翼を担うことができたことから、有効性は上がっている。
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. や ⁴ □ C. や ⁴	や高い や低い	コールセンターへの業務委託により、FAQの充実による市民の自己完結向上、電話問合 せに対する迅速、丁寧な回答完了及び担当課への転送、応対履歴に基づく担当課への業務 改善提案がサイクル的に実施されることから、事業手法として効率性は高い。
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要	
		+11 -11 7	

		コールセンターは市民サービスの入口であり、市民と行政の新たな接点となるものである
施策への	□ B. やや貢献している	ことから、所管課での電話応対等、業務量を抑えることで、市民サービスの向上はもとよ り、職員の負担軽減や事務改善につながるものである。
貢 献 度	□ C. あまり貢献していない	り、
	□ D. 貢献していない	

く6. 今行	の方向性> ACTION
	■ 1. 現状のまま継続 □ 2. 見直しの上で継続 (□ 2-1. 拡充・重点化 □ 2-2. 手段等の改善 □ 2-3. 効率化
	□ 2-4. 簡素化・縮小 □ 2-5. 統合 □ 2-6. その他)
方向性	□ 3. 終期の設定 □ 4. 終了 () □ 5. 休止 □ 6. 廃止
/J I ¹ II	「ワンストップで問合せに対応し、わかりやすく親しみのあるコールセンター」として、オペレーターの応対品質向上
	FAQの充実に取り組むとともに、災害、事故発生時等緊急時にも迅速、適切に対応できるよう備え、市民サービス
	向上に努め運営していることから、コールセンター運営事業は継続する。
	で対スキルの向上及びFAQ充実の取り組みを進め、更なる市民サービス向上と事務の効率化を図ること。併せて、次
部局長	おれてイルの向上及びFAQ元美の取り組みを進め、更なる市民リーとス向上と事務の効率化を図ること。併せて、次 朝コールセンター更新に関して、これまでの実績を踏まえ運営を継続する妥当性、有効性、効率性について検証するこ
コメント	初コールセンメー 更初に関じて、これよての天順を聞よた建当を秘帆する女当は、有効は、効率はについて快証すること。 と。
_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ •

区:	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	63.80 %	68.00 %	122. 50 %
達成率	指標2	145.86 %	141. 21 %	116.52 %
成 果	指標1	- %	+6.58 %	-85.58 %
増減率	指標2	- %	-3. 29 %	+13.43 %
活動単位	指標1	572 _{千円}	591 千円	770 _{千円}
コスト	指標2	1,429 _{千円}	1,508 _{千円}	5, 169 _{千円}
成果単位	指標1	1,716 _{千円}	1,681 千円	13,714 千円
コスト	指標2	11 千円	11 千円	15 千円
コスト増	減率	- %	-1.56 %	+339.87 %

I NOT	整理番号 48															
部	3	局 名 市民部 所属名 市民 ² 市民 ²				民相談	炎室		所』	禹 長	北脇	康二				
事	務事	事業名	01217	広聴及7	び市民相語	談事業						記り	入者	竹下	ゆか里	
< 1	١. ;	基本事項	項>													
		区分	コード				名		称							
		方針	03	安心、忖	決適に住る	み続ける	ことので	できる活力の	のある	まちを創	削ります		拠			
総合	計	政策	05	徹底した	た行財政で	改革を進	め、確か	かな都市経営	営を進	めます		—— 法*	令等			
画の置作		施策	03	開かれた市政の推進												
但小	11)	視点	02		ンデータ		市政情報	の発信					する			
		重事	03	_	<u>・・・・</u> 充実と対詞			Корон				——————————————————————————————————————	計画			
	=		<u>ード</u>	四小い・ファ	70XC711		事務	事業名	名 称				- Г		所属名	3. 称
関		_					T- 123	T / 1	H 1131				•		771 71-20	1 1/1/
事	業															
_	_		計	枠	車	業種	딘		孓	. 笛 3	事 業 名	<u> </u>		<u> </u>	期・終	₩₽
子	÷		会計		評価対象		נימ	±π+π σ¢+						ᄽᄆ	郑 下 祁 :	**7
第事		一叔	云訂	行止	計巡刈多	(中未		広聴及びす	氏相	淡 事業質						
学	4															
	_	2年 にっ	1日が桂	起去サチ	 	* #17 TIII (初去沈み	、ま足のま	= Th ^ /	の会加え	. /D +27/	動によるまちつ	ジノルま	世半っ	ことものっ	
												馴によるまり - 施し、「特別相				
事業	きの							して専門家						10.11270	71777 0 -	
概	安															
			-					_								
			■直営		指定管理	業者 ■	民間委託	モ 口出	資団体	季託	□ 補助st	金交付 □ その	D他 ()
< 2		事業分		PLAN		/	7 - 1 /	8-2-4-1.E	18 HE A	## A	FL 1 7	+ + + = + I	11. 1 -11 - 6. 14			77.1. IL
		目 的						いできない。 こ反映するか		解决の-	-助とする	ため。市民や地	也球の孔	見える	問題の 早期所	洋 次や
	- ''	「のため」				E-70-6 C	الهراب	-	_ 0,7 0							
		対象		大津市	天											
		可又は誰?														
	3	手 段	Ž		隻士、税理士、司法書士等の専門家による定期的な特別相談を開設する。市民から寄せられる要望や意見等を まに担当部局に伝達するとともに、それらを資料化し広報広聴推進本部会議で共有している。											
۶)		ようなやり														
	J	成果	Į		凶み事、□ めの資料。		早期解決	央が図られる	る。市	民生活に	こおいて感	じる行政に対す	する要望	や苦り	情が、政策に	こ反映
		な状態にす		9 01-0	メノリン 貝 木子 (<u> </u>										
< 3	3. i	経費>	DO													
	_				平成30年度 平成31年						3年度	令和 4年度			備考	
				決算額	〔千円)	決算額	(千円)	決算額(刊	千円)	予算額	(千円)	見込額(千円)				
		接経費			7, 297		7, 109	į	5, 874		11, 382	8, 624				
		件費			19, 125		17, 885	85 14,		447 29, 400		26, 940				
事	業費	費合計 A	1+B		26, 422	22 24, 994		20	0, 321	1 40, 782		35, 564				
			E		0		0		0		0	0				
事業	費	県			0		0		0		0	0				
事業 の助 内	加訳	起	債		0		0		0		0	0				
, ,	ці	そ0	D他		0		0		0		0	0			·	
		一般	財源		26, 422		24, 994	1 1			35, 564					
		員 数	(人)		3. 40		3. 10		2. 45 4. 48		4. 18					
W-14.	1 194	正	規		1. 70		1. 60		1. 35		3. 05	2. 75				
職員の内	数	嘱	託		1. 70		1. 50		0.00		0.00	0.00				
יונט	ソ 古人	臨	時		0.00		0.00		1. 10		1. 43	1. 43				
< 4	١. ١	指標>	DO													
			指	標	名		単	位	目標	・実績	平成30年	度 平成31年度	令和 2	年度	令和 3年度	令和 4年度
		市民相談						14		目標	3, 9	50 4, 500	3	3, 700	4, 200	4, 200
江	1							件		- // 実績	4, 5	56 4, 107	3	3, 151	_	_
動		一般相談	炎+特別	相談					•			•	•	!		
指										目標						
標	2									実績		1				
						!				ノヘリス	<u> </u>			!		
							ool									
		特別相談	炎(委託	料分)和	川用率			利用率 %				90 90		90	90	90
_15		特別相談	炎(委託	料分)和	川用率			%		目標					90	90
成里	1							%		目標 実績	91.			90 87. 5	90	90
成果指	1	特別相認 年間利用						%		実績					90	90
活動指標 成果指標	1							%							90	90

事業を取りまく 社会環境の状況 生活様式が多様化する中、市民が抱える問題や意見等もまた多様である。地域や人とのつながり方も変化する中 社会環境の状況 、専門家に相談する機会の確保や、複雑化する要望や意見等を市政へ反映するための手法が求められている。							
	の見直し 等の経過		相談では、終活や相続の多様な相談の需要に応えるべく、司法書士による「相続手続相談」 望については修繕依頼の締切を年4回に変更し、対応の迅速化を図った。				
項目別評価	評	価	評 価 理 由				
妥 当 性 (実施主体又は 手段は妥当か)		ぎ妥当である まり妥当ではない	全ての市民が無料で専門家に相談する機会が与えられることは、安全・安心な市民生活に 資するところであり、市が実施主体となることが妥当である。また、市政の改善や発展に 資する意見や要望等を集約する広聴事業の実施は市主体でなければならない。				
有効性 (事業分析の 「成果」欄に 記載の成果は 上がっている か)	_ □ C. あa	がっている や上がっている まり上がっていない がっていない	成果指標に示す法律相談、税務相談をあわせた利用率については、新型コロナウイルス感 染症拡大の影響によりやや低調ではあったが、同感染症拡大の影響により生じた困りごと の相談もあり、市民の安心な生活に寄与していることから有効性は上がっている。				
効 率 性 (事業手法は効 率的である か。)	■ A. 高U □ B. やり □ C. やり	や高い や低い	特別相談においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響の中にあっても、相談会の利用率は高かった。また、市民の声を市政に反映する事業の検討も進めており、効率性は高い。				
総合評価		画どおり事業を進める 業規模や見直しが必要					
	■ A. 貢献	状している	「市民の声」や「学区要望」は、市民個人や地域の要望を直接収集するための重要な手段				

705 AC 107	□ C. あまり貢献していない	「市民の声」や「学区要望」は、市民個人や地域の要望を直接収集するための重要な手段であり、収集した要望等は市政の改善や発展のための素材となる。また、相談業務によって、市民が抱える問題の早期解決を図り、適切に担当課へ引き継げることから、市の各施策実施に貢献している。
	□ D. 貢献していない	

<6. 今後の方向性> ACTION

CO. PRODUITS ACTION									
	方 向 性	■ 1. 現状のまま継続	□ 2. 見直しの	上で継続(□ 2-	1. 拡充・重点化	□ 2-2.手段等の改善	□ 2-3. 効率化	
		□ 2-4. 簡素化・縮小	□ 2-5.統合	□ 2-6. その他	<u>b</u>)				
+		□ 3.終期の設定	□ 4.終了()	□ 5. 休止	□ 6. 廃止		
71		市民から収集した意見、苦情、要望等を市政に反映するための分析手法と新たな仕組みづくりについて検討する。また 、市民が抱える問題の早期解決が図れるよう、市民のニーズにあった特別相談の構成にしていく。							
立尺		市民から寄せられる意見 予約や利用状況等を検証					討すること。		
ر ا		アポンドが旧仏流寺を快祉	し、川氏の需要に川	いんる付別性談()	/情水で	央引 ソ る L C 。			

区 :	分	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目 標	指標1	101.55 %	100.11 %	97. 22 %
達成率	指標2	- %	- %	- %
成 果	指標1	- %	-1.42 %	-2.88 %
増減率	指標2	- %	%	%
活動単位	指標1	5 千円	6 _{千円}	6 _{千円}
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位	指標 1	289 千円	277 _{千円}	232 千円
コスト	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増	減率	- %	-4. 03 %	-16. 28 %